

全国災対連・石川災対連合同ニュース

能登半島地震支援 「全国災対連・石川災対連」現地事務所
〒925-0026 石川県羽咋市石野町ト13-1
TEL 080-8889-3402 Mail: z-shinsai@zenroren.gr.jp

2024年8月27日

No. 5

第6次震災ボランティア活動

被災者宅の片づけを中心に

全国災対連・石川災対連・全労連は8月24・25日の2日間で、能登半島地震被災者支援第6次のボランティア行動を行いました。24日は全国から23人が、25日は28人が参加し輪島市を中心に被災者宅の災害家財の運搬・廃棄、家わきの通路の倒壊瓦礫の撤去を行いました。



◆想像以上に復興の遅れ

8月24日(1日目)

軽トラ1台、ワゴン車2台、乗用車3で羽咋のボランティアセンターを出発し、輪島の道の駅から、輪島市尊利地(なじみ)町へ7人、輪島市山岸町へ19人で災害家財の運搬・廃棄、家わきの通路の倒壊瓦礫の撤去を行いました。

健康友の会会員宅では、母屋の筆筒3竿を納屋へ移動する作業を行いました。尊利地町は道路ががけ崩れで寸断され生活面でも大きな支障を受けた地域で、孤立集落になりヘリコプターで金沢市内の仮設住宅で避難しています。沢山の着物類の梱包や、遺影や神棚の片付け

などを行いました。

山岸町の被災家屋は集落の道の奥にあり、家の前の生活道路に近所の家が道に崩れ落ち、これまで自宅の瓦礫運搬ができませんでした。近所宅の瓦礫の緊急撤去や公費解体によって道が通れるようになったため、今回、災害ゴミの運搬を行いました。

また、家の前の車庫が倒壊したため、家財を運び出すための家わき通路が通れなくなり、倒壊車庫の瓦礫の撤去も依頼され、通路を開ける作業をおこないました。



8月25日(2日目)

2日目は羽咋のセンターから穴水に向かい、能登町と輪島方面の二手に別れて作業しました。

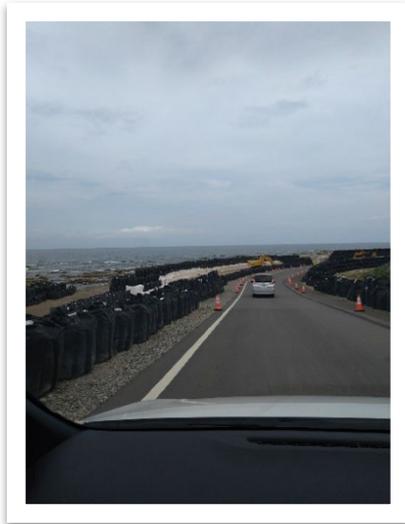
能登町鶴川本町の藤谷さん宅では、畳 10 枚、ガラス戸5枚を廃棄しました。輪島市上山町元池田では、俵田さん宅とご近所の 3 軒の片付けを行いました。

石川県労連の藤田さんの先導で輪島市上山岸町まで向かうなか、集中豪雨と雷雨で局地的に輪島のみ記録的短時間大雨情報が出され、川も濁流となり道路に小石がころがるなどボランティアの参加者の帰路が心配になるほどでした。

屋根瓦の運び出しをしてもらいたい様子でしたが、集中豪雨で危険なため、お隣の壁の壊しと残土の袋いれ、筆筒の 2 階からの 1 階へ卸す作業を短時間でしましたが行いました。



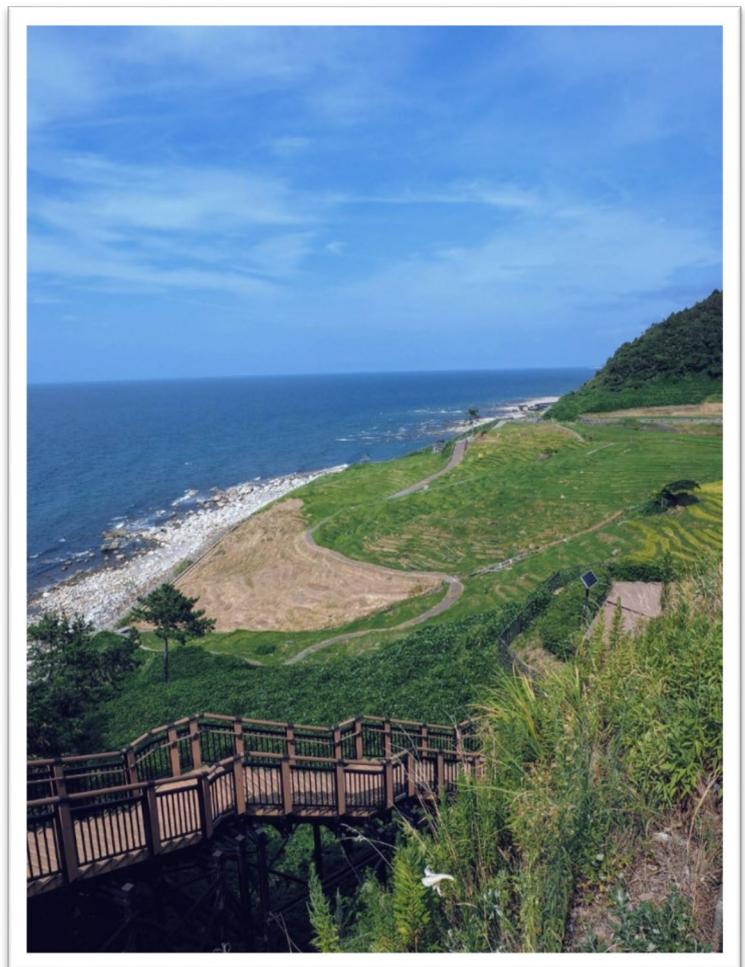
- ◆ 作業が早めに終了したため、輪島市内の倒壊した五島屋ビル、大規模火災があった朝市周辺、浚渫工事中の輪島港、千枚田などを見学しました。



上 道路が寸断され 隆起した海に
道路を新設中

右 千枚田 植え付けができず土肌が
みえる

下 ボランティアセンター 打合せ風景
下右 里町第2団地 仮設住宅



◆ 感想文 *

- ① 現地での確認など、大変に貴重な経験になりました。ここまで復旧が進んでいないことにビックリしました。また、東北と同様にドロボウに入られているとのこと、やはり対策が必要だと思った。現フェーズでは、片付け作業がメインと思いました。そこで、引越に必要なものを準備しておくことよいかなど、タンス移動で感じました。毛布・ロープ・メジャー・養生テープなど。
- ② 初めて震災ボランティアに参加しました。人生観が変わり、とても有意義な2日間でしたが、残念なことは、2日間とも実働が1~2時間しかなかったことです。それでも被災された方から感謝の言葉をいただけたので、参加した意義はあったと思います。
思っていた現状と違う「実際の困難」が広がりました。7ヶ月間もたつのに、これ程まで復旧が進んでいない事実、そして、外見、問題なさそうに見えても「全壊で危険」な建物もある事実を知れました。これからは、その事実を「伝える」こと。やはり、センターからボランティアの場所が遠いですね。実働1時間だと、、、何らかの改善を求めます。
- ③ 今回で3回目となります。前2回は作業の困難性で大変か？そうでないか？という感じでしたが、今回は、お天気がボランティア活動にどのくらい影響するかが身に沁みてわかりました。被災された方には十分にお手伝いできなかったの、申し訳ない気持ち半分、あのような天候で、どこまで決行すべきかどうか考えさせられた今回でした。
なかなかフルモードでの活動とはなりませんでしたが、これもまた次も来なきゃ!という気持ちを起こさせるという意味では良かったのかもしれません。まだまだボランティア続きますね、可能な限り参加したいと思います。スタッフの皆さん、長曽さん、藤田さん本当にお世話になりました。また来月(笑)
なかなか前に進んだ感が感じられない状況から脱しないなど改めて思いました。県のボランティアは終息に向けた感がありますが、まだまだ需要はあると思います。現地の状況を発信して、まだまだボランティアは必要であることを伝えていきたいと思っています。
- ④ 現場までが遠く活動時間が大変短かいのが残念に思います。特に2日目は大雨にたたられ、残念でした。被災され支援要請された方の力になれたのか？やや心もとなく思います。同じ地区でも、少しの場所の違いで大きく被害状況が違ってにびっくりしました。地区内での分断が生まれなにか心配になりました。政府・県は本気で復旧・復興を行う気がないのではないか？と疑いたくなるくらい道路・インフラの復旧の遅れに腹立たしい思いです。ボランティアの参加者が、金沢市内の県庁まで高速道路無料のための書類に印をもらいに行く!! これを何とか改善してほしいと思います。2日目の集合時間は8:30でも良いのでは？と思います。作業時間を長くできた方がボランティアの満足度も増すと思います。
- ⑤ 今回が初めてのボランティアで分からないことが多かったですが、皆様のおかげで気持ちよく働けたと思います。怪我や事故がないようにするには、その場の状況判断が雰囲気も大事であると思いますが、とても良い環境で働けたと思います。道路は大分直ってきたと思いますが、ガレキ撤去など後かたづけはまだまだ時間がかかると思いました。今回とても良い環境で作業ができたと思います。LINEの活用でお互いの状況がスムーズに分かったのは良いと思いました。
- ⑥ 初めての参加です。まだまだそのまま地震の爪痕が残っている家や地域があるのにびっくりです。少ししかお手伝いできませんでしたが、喜んでくれたのならうれしいです。ブルーシートの家が多いように感じました。今日のように大雨が降ったらさらに条件が悪くなっていくのでとても心配です。まだまだ他人事のように感じていた自分に反省です。移動の時間は仕方がないですね。すみません。集合時間の變更に気付かなくてご迷惑をおかけしました。
- ⑦ 大変お世話になりました。能登の現状がよくわかって勉強になりました。復興が進んでいないと感じました。なぜ？課題は？いろいろ考えさせられました。また来たいと思います。送迎等良くしていただいて感謝しています。
- ⑧ いかなければわからない現状を実感できてよかった。まだまだ色々な悩みがあり、個別に対応が必要なのだろうと思った。個別に対応が必要とは思うが、募集要項文書に、これまでの活動内容が参考例として移動時間、作業時間の目安があると想像しやすい。初めてのひとも…
- ⑨ 本当に震災の大変さが身にしみた。ひどい。
- ⑩ 私自身の力はわずかなものでしたが、被災者の皆様に優しいお声をかけていただき励まされました。自分自身にとってもありがたい機会になり感謝です。想像以上に復興が進んでいない遅れていることを知り驚きました。ニュースで取り上げられなくなった＝心配がなくなったという訳ではないという当たり前のことを改めて実感しました。皆さんのお力添えがありこのような活動ができたことに大変感謝しています。可能であればもう少し長い時間働くこともできたかなと思いましたが、また機会があればよろしくお願いします。

* *